

令和4年度 第58回 指定都市子ども会

育成研究協議会大阪大会に参加して (11/26-27)

熊本市子ども会育成協議会 副会長 山田はる美

「Withコロナ 都市型子ども会の活性化」をテーマに行われた1日目の分科会。「『子ども会がこうなったらいいよね』『子ども会のこれがいいよね』をそれぞれのグループで付箋に書きましょう。」とコーディネーターの説明。私たちのグループは8人、思いを出し合った。「会員や育成者が増えたらいいよね」

「保護者の参加があって理解してもらえるといいけど」「予算がもっとつけば助かる」「スポーツに力を入れられるのはいいよね」「コロナ禍の中、eスポーツが注目されている」などなど。その一人一人の思いから、さらに意見が交換された。

また、ほかのグループからも「次世代とのつながりは大切」「親子で楽しめる活動を考えてみては?」「学校とPTAが協力し合う」「高齢者も一緒に交流する」「地域全体で子どもたちを育てる環境を作る」「予算は行政に相談する」などの意見もあり、「なるほど・・・」と思わされた分科会だった。地域性が異なる中、様々な意見の中から一つでも参考にして子ども会の活性化に繋げてほしいと思った。

2日目「地域の中で子どもを育てる」をテーマに基調講演が行われた。

「子ども会の歴史」「子ども会の組織の成立」「子ども会の課題」「地域の教育力への強化」などの話の中から思ったことは、子どもを取り巻く社会環境が変化していく中、今の時代に合った子ども会活動は大切な組織であり、そこに関わる大人や地域は、しっかりと向き合っていかなければいけないのではないかということだった。

子ども会活動の課題はたくさんあるかもしれないが、一つの活動に参加した子どもたちや保護者、育成者が「楽しかったね」「また、やりたいね」との声を聞いた時、大成功と言えるのではないだろうか。諦めないで子どもたちの成長を願いつつ、協力していければと思う。二日間の研究大会に感謝したい！！

